

プロジェクト・ワイルド エducator養成講習会

- ・プロジェクト・ワイルドとは・・・幼稚園から高校の教育者向けに米国で開発された、野生生物と共存し自然環境に良い影響を与えることを目的とした環境教育プログラムです。日本では、(財)公園緑地管理財団が運営している公的な資格で、講習修了後はエドゥケーターとして活動できます。詳しくはホームページをご参照下さい。
(<http://www.projectwild.jp/>)
- ・エドゥケーターとは・・・野生動物を題材にして生態学や生物の保全管理、人の関わり方などを一般の人に体験を通して伝える指導者のことをいいます。現在国内で約16,000人のエドゥケーターが登録されています。
- ・プロジェクト・ワイルドのプログラムは学校の授業や地域の活動で使いやすいものが多く、指導者が自由にアレンジできるので自然観察会などにも応用しやすく、自然遊びの場から一歩踏み出して学習の場の雰囲気を作るのに役立てることができます。
- ・この講座では、プロジェクト・ワイルドの指導者養成カリキュラムによって、自然環境保全のための環境教育プログラムを企画・実施できる指導者を養成します。
- ・この講座を修了すると、(社)大阪自然環境保全協会のボランティアとして登録することができ、子どもたちに体験を通して自然の大切さを実感してもらう活動のリーダーとして参画することができます。

日 時 2009年12月13日(日)、20日(日) 2日間 各日10:00~17:00
場 所 四條畷市野外活動センター (JR四條畷駅からバス17分、徒歩10分)
対 象 18歳以上で自然体験型環境教育プログラムに興味・関心のある方
定 員 24名(先着順)
参加費 一般8,000円(保全協会会員は6,000円)※テキスト代4,000円を含みます。
講 師 田中広樹・宮本義人(プロジェクト・ワイルド ファシリテーター)
主 催 (社)大阪自然環境保全協会
協 力 四條畷市野外活動センター

申込方法 ハガキまたはEメールにて受け付けます。以下の1.~10.をご記入の上、各申込先までお申し込みください。1.氏名(フリガナ)、2.性別、3.年齢、4.住所、5.郵便番号、6.電話番号、7.FAX、Eメールアドレス(あれば)、8.現在保全協会の会員か否か、9.この講座を何で知ったか、10.受講の動機
★お申込みを受け付け次第、折り返しご連絡いたします。

問合せ・申込先

(社)大阪自然環境保全協会 「プロジェクト・ワイルド講習会」係
530-0041 大阪市北区天神橋 1-9-13 ハイム天神橋 202
電話:06-6242-8720 FAX:06-6881-8103
URL:<http://www.nature.or.jp> E-mail:pw★nature.or.jp

(★を@に変えて送信)

大阪自然環境保全協会のプロジェクト・ワイルド(PW)講習会は、 ここが特徴！

- ① PWのエducーターの中には、実際にPWを使うチャンスがほとんどないという人が多くおられます。この講習会には、その後の実践の場や、更なるスキルアップの場を含めた、長期的視野に立った学びのプログラムがあります。

保全協会の活動グループ・ステップアップ講座の一例

グリーンレンジャー 大学生や専門学校生が中心となり、子どもたちに自然体験の場を提供しています。スタッフを対象とした研修は、リーダーとしてのスキルやマインドを磨くプログラムでもあります。	海のふしぎ観察会 大阪湾に残された磯や干潟で、子どもたちとともに不思議な生き物を探し、見つけ、じっくりと観察します。海辺の環境は野生動物の宝庫であり、生き物たちのつながりが理解できます。	ビオトープチーム 学校ビオトープの造成を生徒たちと一緒に実施し、ビオトープを活用した授業や課外活動のサポートをしています。PWのアクティビティは、ビオトープの概念にもぴったりです。
プロジェクト・ワイルド研究会 PW講習会の修了生が、お互いの実践経験について紹介しあったり、新しいアクティビティを練習したり、また次の講習会のスタッフとして企画に携わることもできます。	自然観察イストラクター養成講座 自然環境を保全するための自然観察会を企画・実施する地域のリーダーを養成する8ヵ月間の講座。生態学と体験学習法に基づき、インストラクターとしての実践力を身につけます。	初心者のための自然かんさつ塾 植物から動物まで、生き物のおもしろさ、不思議さを体験し、大切にしたい気持ちを育むことができる楽しい講座です。毎年、春期、秋期の2回開講しています。

- ② 「単にPWができる人材を育成するプログラム」ではなく、「自然体験型環境教育プログラムのファシリテーターを育成するプログラム」です。PWのエducーター養成を中心に、様々な要素を加えたオリジナルプログラムです。

この講習会で
取り扱うテーマ

「体験学習法とファシリテーターの役割」「環境教育と自然体験活動」「インストラクター」「プログラムの基礎知識」「ビオトープと生態系」「アイズブレイクの考え方」「場づくりの基本」「地域でのPWの活用」「様々な小道具の活用」「安全管理」「小学校の現場での活用」等

- ③ 講習会をサポートする豊富なスタッフ(PWファシリテーター、PWエducーター)で、様々な参加者ニーズに、きめ細やかに対応します。

スタッフプロフィール

田中広樹 (ペーター) PWファシリテーター。保全協会理事。教員やボランティアなど、大人を対象とした環境教育の指導者養成に携わる。	宮本義人 (ブーバー) PWファシリテーター。保全協会ビオトープチーム所属。府民牧場勤務。動物と子どもが大好き。府民の森パルソングャー。	長井裕司 (ファイヤー) PWエducーター。保全協会ビオトープチーム代表。ビオトープ管理士として小学校の授業など幅広く活動中。ネイチャーゲームリーダー。	池村直美 (いけちゃん) PWエducーター。保全協会海のふしぎ観察会の自然観察イストラクターとして活動歴14年。週末には各地を旅する。
山中由美 (ゆみちゃん) PWエducーター。保全協会ビオトープチーム所属。四條畷市野外活動センターにセンター長として勤務。ネイチャーゲームリーダー。	白水智子 (カルピス) PWエducーター。保全協会グリーンレンジャー代表。子どもと自然の中で遊ぶのが大好き。就職を控えた大学4年生。	中村彩乃 (彩乃sun) PWエducーター。保全協会自然かんさつ塾、ウミガキ観察会所属。フィールド講座、イストラクター講座、里山管理者講座修了。	